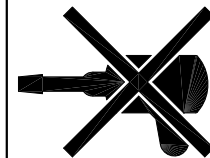


品番: IHV-SA-[1,6,8]

引戸錠(間仕切り錠・表示錠・シリンダー錠)

注意

- 本書を確認の上、施工してください。不完全な取付ですと作動不良、故障の原因となります。
- 本製品は一般屋内用です。屋外、浴室での使用はしないで下さい。
- 製品に必要以上の力を加えないで下さい。破損の原因となります。
- 表面の清掃は、中性洗剤を10%程度に希釈して使用して下さい。
- 表面を傷める為、化学薬品、磨き粉等は使用しないで下さい。
- 仕様及び外観は改良の為予告無く変更される場合があります。あらかじめ御了承ください。



※ 取り付けの際は電動工具を使用しないで下さい。製品やドアが破損する恐れがあります。

施工方法

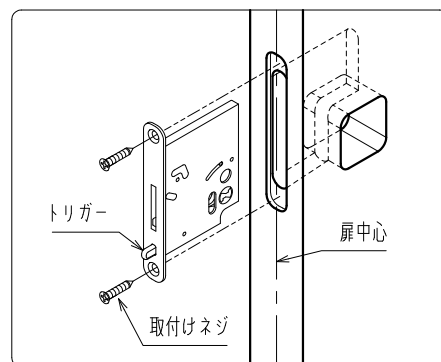
1 扉・枠の切欠き

- ① 裏面切欠き図に従って、扉・枠に切欠きを行ってください。

2 錠ケースの取付け(図1)

- ① 錠ケースはトリガー部を下にして、解錠状態のまま戸先側の切欠きに差し込み、取付けネジで取付けてください。
※ 対応扉厚 28~36mm

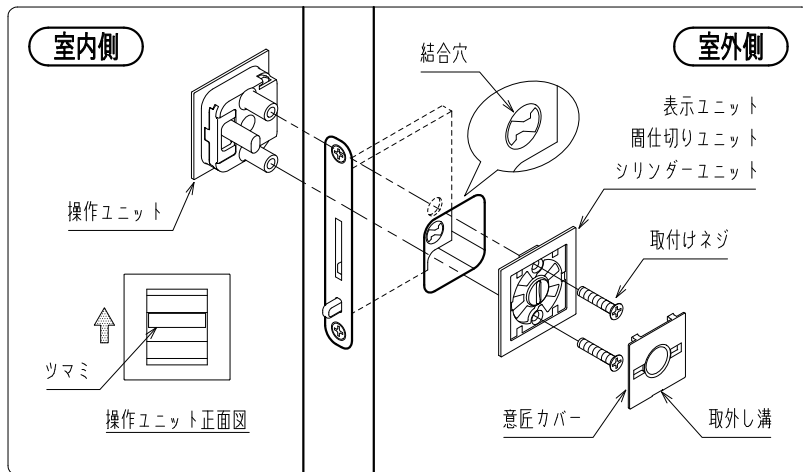
図1:錠ケース取付図



3 操作・表示ユニットの取付け(図2)

- ① 室内側から操作ユニットを、ツマミを上げた状態で、切欠きと錠ケース孔に合わせて差し込みます。
- ② 室外側から表示ユニットの結合ピンを、切欠きと錠ケースの結合穴に合わせて差し込み、取付けネジで取付けてください。
注意 ⚠️ 取付けネジを締め過ぎると、破損や動きの悪化になります。インパクトドライバー等は使用しないでください。
注意 ⚠️ 意匠カバー取付け前に、必ず動作確認を行ってください。その際は、トリガーを押した状態で確認してください。
注意 ⚠️ シリンダー錠は、キーでの施解錠確認も行ってください。切欠き等によって、作動が悪い場合がございます。その場合は、上下を入れ替えて確認を行ってください。
- ③ 取付けネジで固定した後、表示カバーを取り付けてください。
注意 ⚠️ 意匠カバーは取外し溝を下側にして取付けてください。

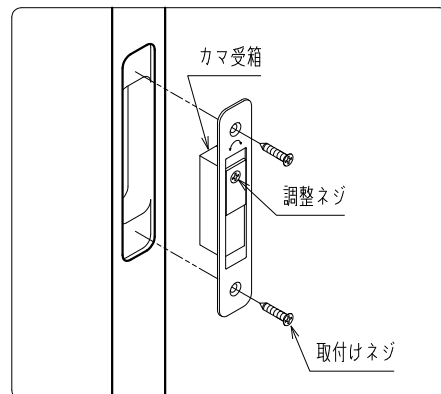
図2:操作・表示ユニット取付図



4 ストライクの取付け(図3)

- ① ストライクを枠の切欠きに差し込み、取付けネジで取付けてください。
※ 調整方法
前後調整:調整ネジを回す事によって、扉と枠の隙間調整が可能です。隙間を縮める際は左回しになります。(調整範囲 2.7~8mm)
上下調整:取付けネジを一度緩めてカム受箱を上下に動かす事で、カムの掛かり調整が可能です。(調整範囲 ±5mm)

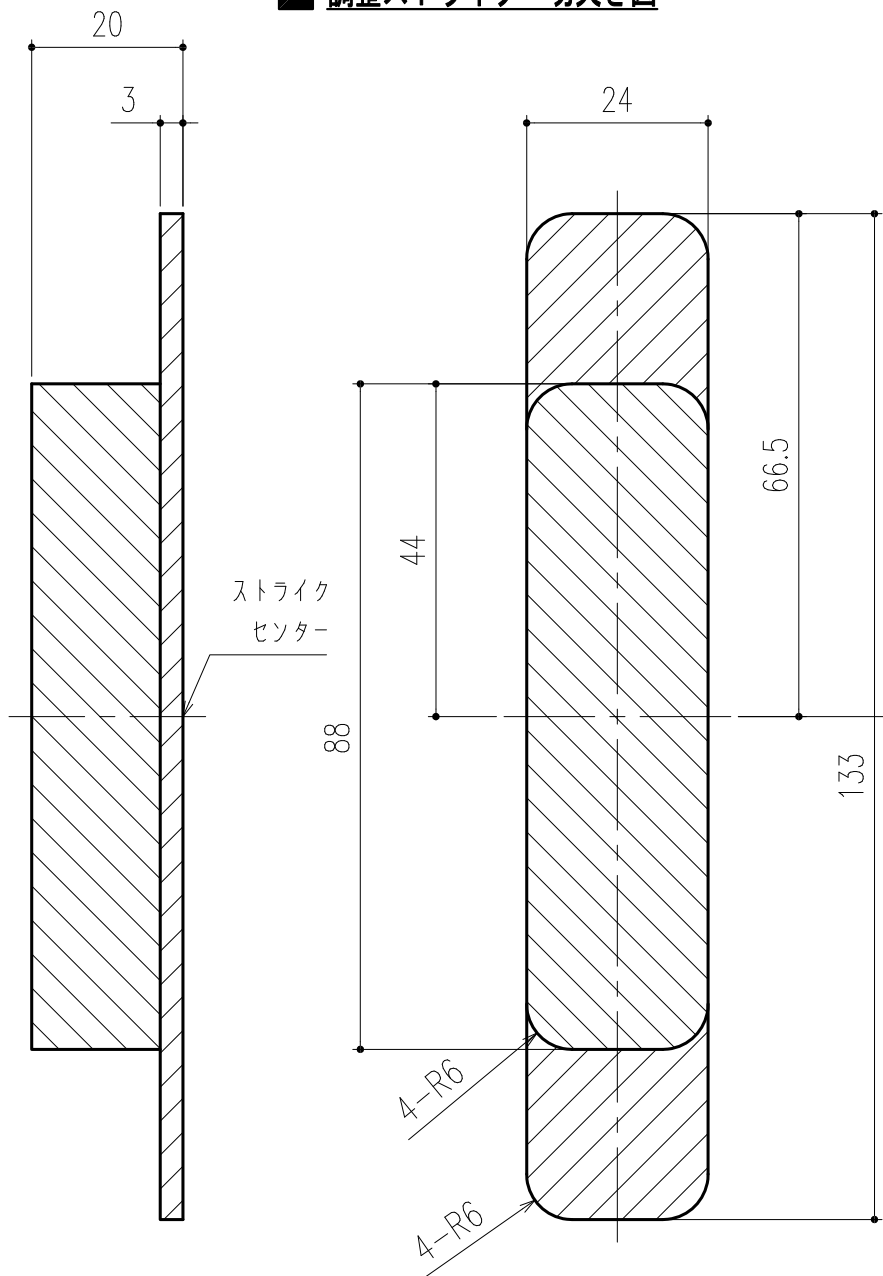
図3:ストライク取付図



引戸錠(間仕切り錠・表示錠・シリンダー錠) 切欠き図

※切欠きは必ず下記寸法の通り行ってください。
 寸法を外れますと作動不良となる恐れがございます。
 ※錠ケースとストライクのセンター位置が異なりますので、ご注意ください。

調整ストライク 切欠き図



錠ケースおよび操作・表示ユニット 切欠き図

